

高校時代

高校四十回卒 須賀 智栄



今はほとんど思い出出すこともない高校時代。二十数年経ってあの頃を振り返る機会をもらった。改めて思い出してみようと意外と覚えていることが多いのに驚く。先生方の顔、教室のドア、長い廊下、中庭の砂利、友人との会話、お昼時の校内放送、行き帰りの道。

イドとなり、実施している。その支援やコーディネート、人材育成等を行うのが現在の私の仕事である。この事業の目的は、飯能の魅力を発信し、多くの人に飯能へ来ていただくことは勿論であるが、エコツアーを企画、ガイド、実施することによって、その主体である市民の方たちが、自分たちの住む地域の魅力を再発見することで、地域への誇りや愛着が育まれ、地域が元気になる、地域の活性化につながる大きな目的となっている。

私自身も、まだまだ知らないことが多く、自分が当たり前だと思っていた山や川、森林、まちなみ、そして普段の生活や風習のなかに、実は素晴らしい宝物があるということ、生まれ育った飯能の魅力に改めて気づかされている。さらに気がつけば、伴侶も飯高生、尊敬する職場の上司、仲の良い同僚、後輩にも飯能高校の卒業生が多く、市長だって大先輩である。今でもこのまちには、高校時代の友人が多くいて、会えばあの高校時代にすぐに戻ることがができる。私にとって飯能高校は、忘れられない青春の一頁であるとともに、今でも大きく、身近な存在となっている。そんな母校のあるこのまち「飯能」で暮らせる今の幸せを、50歳を目前にして実感している今日この頃である。

飯能市在住



どの様な学校生活を送っているのか私にはわからないけれど、あの頃の自由な校風は変わっていて欲しくないなと思う。

卒業式の日にみんなは晴れ晴れと笑っていたけど、私は泣いてしまった。式の体育館の中でもこんな暖かい日差しを受けながらも、友達とただただたわいもない話を延々とすることももうないのだなと思つたらとても淋しい気がした。

高校時代に知り合った友達も今ももうすっかりおじさんおばさんになり、その子供達が高校生、大学生になっている。会って話せば話題は子供の事ばかりだけど昔はこうだった今はこうだなどとは言わない。皆、今は今のやり方があるし自分達の頃とは違うんだと理解している。

今でもつきあひのある先生がいる。私の結婚式にも来ていただいた。いわゆる恩師だ。飯能高校で知り合い、以来二十年以上手紙のやりとりをして、たまに会って話をすることもある。今も先生は別の学校で先生をしていて大勢の生徒達に高校時代の思い出を作り続けている。こんな機会でもなければこのよ

私のふるさと

高校四十五回卒 南 理恵



飯能高校を卒業して、二十年以上になるということ、豊かな経験につながる環境があるということに、あらためて気付かされました。飯能の素敵さを再発見、再認識した思いです。いつまでも美しい空気、自然にあふれる飯能であって欲しいと思つています。

一日を少しゆつくりと大切にしたいと思ひ、只今、仕事は育児のため休業中。そして、飯能を少し離れた所沢に住んでいます。家は飯能で、帰る度にその空気にすら懐かしさを感じます。生まれも育ちも飯能で、飯能という地に当たり前に生活していました。飯能を少し離れたからか、歳を重ねたからか、今はとても飯能の豊かな自然のありがたさを感じてみみ感じています。緑の山々、美しい川に囲まれた飯能。『お母さんが育った、ふるさただよ』と子どもに伝えて、子どもたちを沢山、飯能の自然に触れさせたいな...と思うこの頃です。近くにこんなにも豊かな自然があるということ、豊かな経験につながる環境があるということに、あらためて気付かされました。飯能の素敵さを再発見、再認識した思いです。いつまでも美しい空気、自然にあふれる飯能であって欲しいと思つています。

所沢市在住

に、あらためて驚きます。色々なことがあった三年間。高校時代の出会いが今につながる、本当に素敵なものであったと思ひます。卒業して二十年も経てば、高校の三年間はあつという間の時間に思えますが、中身が濃い三年間だったなあ...と思ひ返されます。今は、仕事、子育てに忙しくも楽しい毎日を送っています。好きな仕事に就くことができ、充実した日々に加え、我が子と過ごす愛しい時間。忙しさに追われず一日

